

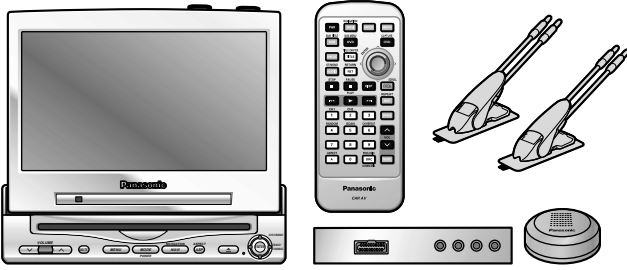
# Panasonic

7V型ワイドインダッシュTV/  
DVD-VIDEOプレーヤー

## 取扱説明書

品 番

# CY-TVD9200D



**DVD**  
VIDEO

**MP3**

COMPACT  
**disc**  
DIGITAL AUDIO  
TEXT

COMPACT  
**disc**  
DIGITAL VIDEO

**DD** **DOLBY**  
DIGITAL

**dts**  
DIGITAL OUT

### 保証書別添付

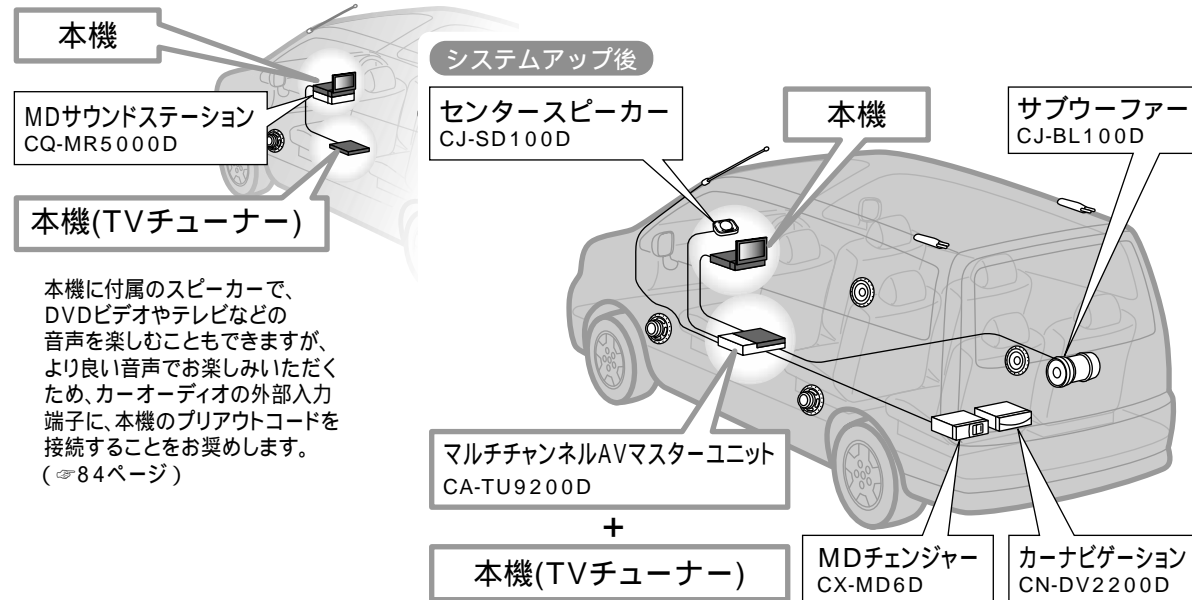
このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。  
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
そのあと保存し、必要なときにお読みください。  
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

# 特長

TV DVDビデオ ビデオCD CD CD-R/RW MP3

AVマスターユニットとの組み合わせで、5.1chサラウンドカーシアターが楽しめます

システムアップ前



## CY-TVD9200D 単体使用時との機能比較

機能	組み合わせ	CY-TVD9200D 単体	CA-TU9200D を接続	CA-TU7200D を接続
FM/AMチューナー (ラジオ)		×		
チェンジャーコントロール		×		
45 W x 4 パワーアンプ		×		
35 W パワーアンプ (センタースピーカー用)		×		×
デジタル音声接続 (5.1ch再生)		×		×
付属スピーカーの出力		OFF/自動/カーナビ固定	カーナビ固定	カーナビ固定
音質調整		×		
音場設定		×		×
音量調整		付属スピーカーの音量調整	CA-TU9200Dに接続したスピーカーの音量調整	CA-TU7200Dに接続したスピーカーの音量調整
FMトランスミッタ			×	×
ナビミュートレベルの設定		×		

CA-TU9200D接続時とCA-TU7200D接続時で、調整できる内容が異なります。

マルチチャンネルAVマスターユニットCA-TU9000D、またはAVマスターユニットCA-TU7000Dは、本機に接続しないでください。接続しても正常に動作しません。

# もくじ

特長.....	2	各部のなまえとはたらき.....	10
安全にお使いいただくために.....	4	再生できるディスクについて.....	15
使用上のお願い.....	8		
付属品・添付品の確認と準備.....	9		

電源を入れる・基本操作.....	16	組み合わせる.....	26
モニターの開閉	電源ON/OFF	便利な機能.....	30
モード切り替え	音量調整	いろいろな設定と調整.....	32
消音 (ミュート)		モニターポジション/ナビゲーション設定	32
モニターの上下角度 (TILT)・位置調整/		カメラ設定/その他の設定/メモリークリア	34
左右の角度調整/一時的に倒す		FMトランスミッタ/ディマー設定/画質調整	36
テレビを見る.....	18	言語設定	38
ディスクを再生する.....	20	表示モード/日付・時刻設定/カレンダー	40
DVDビデオ/ビデオCDの基本再生	21	キャプチャー	42
チャプター/タイトルを選んで再生する	22		
便利な機能	23		
音楽CD/MP3の基本再生	24		

システムアップに応じて音声を楽しむには.....	44	いろいろな設定と調整.....	52
音声チャンネルを設定する	44	VTR音声入力レベル/DIGITAL入力/	
音場を設定する	46	スピーカー設定/スピーカー出力レベル	52
中音域・低音域を強調する(ラウドネス)	46	スピーカーディレイ	54
ラジオを聞く.....	48	DR COMPレベル/GRAPHIC-EQ	56
チェンジャーでCD/MDを聞く.....	50	TONE/BAL/FAD/SUB-W	58
		ナビゲーション設定	60

故障かな!?.....	62	取り付けかた.....	78
MP3ファイル作成時の留意点.....	70	TVアンテナを取り付ける.....	80
用語解説.....	72	配線のしかた.....	82
ディスクの取り扱いについて.....	74	仕様.....	87
本機のお手入れ.....	75	アフターサービスについて.....	裏表紙
配線・取り付けの前に.....	76		

# 安全にお使いいただくために

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



## 警告

### 運転者は走行中に操作をしない また画像・表示を注視しない



禁止

走行中の操作や画面・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。  
必ず安全な場所に停車させてから操作してください。

### 取り付け・アース配線等に、 保安部品を絶対に使わない



禁止

保安部品(ステアリング・ブレーキ系統・タンクなど)のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。  
説明に従い、付属品や指定の部品を使用してください。

### DC 12 V $\ominus$ アース車で使用する



本機はDC 12 V $\ominus$ アース車専用です。DC 24 V車(大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など)には使用できません。火災や故障の原因になります。

### 配線・取り付け作業中は、 必ずバッテリーの $\ominus$ 端子をはずす



バッテリーの $\ominus$ 端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。



## 警告

### 故障や異常のまま使用しない



禁止

万一、故障(画像が映らない、音が出ないなど)や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・異臭がするなど)が起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に相談してください。  
そのまま使用を続けると、事故や火災・感電の原因になります。

### 必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する



規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に依頼してください。

### コード類は、運転や乗り降りの 妨げにならないように引き回す



ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

### 指定に従って設置・配線する



説明に従って正しく設置・配線しないと、事故や火災の原因になります。

### 分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

### 電池は乳幼児の手の届かない ところに保管する



あやまって飲み込む恐れがあります。  
万一飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

### エアバッグのカバー部分や作動の妨げ になる場所に、絶対に取り付けない



禁止

エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。

### リモコンを放置しない



禁止

運転中に足下へ転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

### MP3ファイル以外のファイルに、 拡張子「.MP3」を絶対に付けない



禁止

MP3ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出て、耳に障害を与えたり、スピーカーなどを破損する原因になります。

## 警告

安全のため、必ずサイドブレーキコードを接続して使用する

**!** 説明に従って正しく配線しないと、安全機能が働かなくなり、交通事故の原因になります。

雷が鳴りだしたら、アンテナやプラグに触らない

**⊘** 感電の原因になります。  
禁止

## 注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する

**!** 配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

必ず付属品や指定の部品を使用する

**!** 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかり固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

本機の通風孔や放熱板をふさがない

**⊘** 内部に熱がこもり、発火や故障の原因になることがあります。  
禁止

水のかかる場所、湿気や埃の多い場所で使用しない

**⊘** 発煙・発火・感電・故障の原因になることがあります。特に洗車や雨のときなどに、水がかからないようにしてください。  
禁止

適正な音量で使用する

**!** 車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は、事故の原因になります。

アンテナは、落下しないようにしっかりと取り付ける

**!** ねじがゆるんでいたり、取り付け部の接着が弱いと、走行中に落下して車のボディを傷つけたり、事故やけがの原因になります。時々点検してください。

アンテナは、はみ出さないように取り付ける

**!** アンテナのエレメントが車幅および車の前後部からはみ出すと、歩行者の目や顔などに接触して、事故やけがの原因になります。

## 注意

機器内部に異物を入れない

**⊘** 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電、故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。  
禁止

可動部やディスク挿入口に手・指を入れない

**⊘** 手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。特に乳幼児にご注意ください。  
禁止

シール・ラベル・テープなどを貼り付けたディスクは使用しない

**⊘** 本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RWは、使用しないでください。  
禁止

特殊形状のディスクやディスクアクセサリは使用しない

**⊘** ハート型や八角形など特殊形状のディスクや、プロテクトフィルム・スタビライザーなどのディスクアクセサリを使用すると、故障の原因になります。  
禁止

コードを破損しない

**⊘** 断線やショートにより、感電や火災の原因になることがあります。車体やねじ・可動部(シートレールなど)への挟み込みで破損しないように引き回す。傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。  
禁止

電池は正しく使う

**!** 破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。指定の電池以外は使用しない。  
⊕⊖を電池ケースの表示に合わせて入れる。  
使いきった電池は、すぐに交換する。  
リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。  
充電・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。  
電池を廃棄、または保管するときは絶縁する。(ビニール袋に入れる、テープなどを巻く)  
著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。(窓を開けきった車や車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど)

電池を廃棄する場合は

地方自治体の条例などに従って処理してください。

# 使用上のお願い

必ず、サイドブレーキコードを接続して使用してください。  
走行中はテレビ、DVDビデオ/ビデオCD、VTR1、VTR2の画像が表示されず、音声のみとなります。  
また、停車状態でもサイドブレーキを引かないと映像は表示されません。(安全機能)  
(2台目のモニターには映像が表示されます。)

## 他の機器と接続する場合は

各機器の取扱説明書も併せてよくお読みのうえ、正しくお使いください。

## 携帯電話を使用する場合は

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。

## 本機の取り扱いについて

車載用以外には使用しないでください。

車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

## 液晶ディスプレイについて

液晶ディスプレイに衝撃を与えたり、押ししたりしないでください。

液晶ディスプレイのパネル面にはなるべく触れないでください。  
特殊加工されているので、触れると指紋が目立ちます。

直射日光があたる状態で長時間放置しておくと、著しく高温になり、液晶ディスプレイが変形・変色・故障する原因になります。本機を使用していないときは、液晶ディスプレイに直射日光があたらないようにしてください。

低温になると、映像が出なくなったり、出るのが遅くなったりすることがあります。  
また、映像の動きに違和感が出たり、画質が劣化したりすることがあります。  
(使用可能温度：0 ~ 40 )

## 結露について

寒いときヒーターをつけた場合などで、急に車内の温度が上がったとき、本機内部の光学系レンズやディスクに露(水滴)を生じることがあります。このような現象を結露といいます。結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、正常な動作をしない場合があります。

結露の状況にもよりますが、ディスクを取り出して乾いたところで約1時間ほど放置しておけば、結露が取り除かれ正常に動作します。ディスクに付いた露は、柔らかい布で拭いてください。

もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に相談してください。

## 免責事項について

火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。

商品に添付の保証書は、当該製品を業務用の車両(バス・タクシー・商用車など)に使用した場合、適用対象にはなりません。

# 付属品・添付品の確認と準備

## 付属品

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

配線・取り付け用の部品は、76ページをご覧ください。

### リモコン

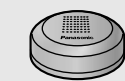


### リチウム電池



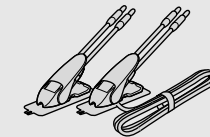
(CR2025 : 1個)

### スピーカー (コード 3 m)



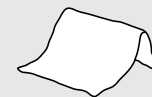
センタースピーカーとしての使用はできません。

### TVアンテナ (コード 6 m)

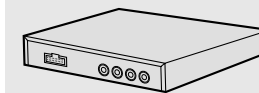


(左右1組)

### クリーニングクロス



### TVチューナー



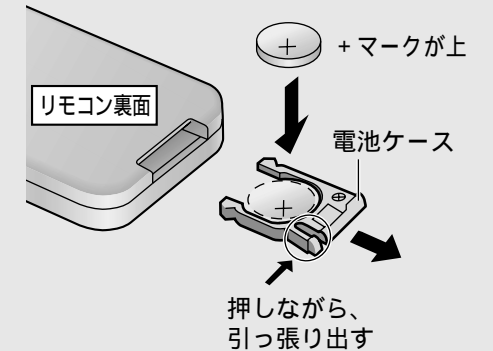
## 添付品

取扱説明書(本書)  
保証書  
お客様ご相談窓口一覧表

## リモコンに電池を入れる

### 1 電池ケースを出して、電池をはめ込む

⊕⊖の向きを、電池ケースの表示に合わせてください。



### 2 電池ケースを入れる

奥まで差し込んでください。

## 電池について

使用電池：リチウム電池(CR2025)

電池寿命：通常の使用状態(常温時)で約6カ月

取り扱いの注意書き(77ページ)を、よくお読みください。

# 各部のなまえとはたらき

## 本体

CA-TU9200D/TU7200D接続時  
CA-TU7200D接続時

後面およびチューナーユニットについては、「配線のしかた」をご覧ください。  
(82～86ページ)

チルト  
TILT  
モニターポジション画面の表示  
一時的にモニターを倒す  
オープン クローズ  
◆ (OPEN/CLOSE)  
モニターを立ち上げる/収納する



## 画面表示(OSD: オンスクリーンディスプレイ)の見かた

### 画面はDVDの例



表示内容および表示位置は、モードによって若干異なります。  
詳しくは、それぞれの操作ページをご覧ください。

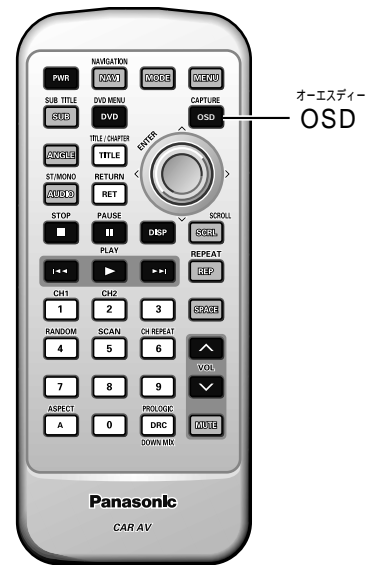
### OSDを消去/再表示するには リモコン操作のみ

CAPTURE  
OSD を押す

押すごとに、OSDの消去/再表示が切り替わります。



本機を操作したときは、OSDが約4秒間表示されます。



11  
使用前に

# 各部のなまえとはたらき

## リモコン

本体のリモコン受光部へ向けて、操作してください。

CA-TU9200D/TU7200D接続時  
\* CA-TU9200D接続時  
CA-TU7200D接続時

ナビゲーション  
NAVI (NAVIGATION)  
ナビゲーション画面と他の画面を切り替える

パワー  
PWR  
本機の電源をON/OFFする

ディスプレイ  
DISP  
画面表示を切り替える

アスペクト  
A (ASPECT)  
映像の横縦比(アスペクト)を切り替える

10キー (0~9)  
数字の入力でチャンネルを選ぶ  
ラジオの周波数を記憶させる/呼び出す 1~6  
\* グラフィックイコライザーの内容を記憶させる/呼び出す 1~6  
チェンジャーを2台使う 1・2  
チェンジャーでランダム/スキャン/リピート再生をする 4・5・6

モード  
MODE  
映像や音声を切り替える  
本機の電源をON/OFFする

メニュー  
MENU  
メニュー画面の表示  
リアモニター設定画面の表示

オ-エスディ- キャプチャー  
OSD/CAPTURE  
OSDを表示させる  
お好みの画像を保存する  
(キャプチャー⇒42ページ)

エンター  
# " /%\$/ENTER (ジョイスティック)  
テレビの放送局を自動で探し、記憶させる  
項目を選択、調整する  
フォルダを選択する  
バンド、ディスクを選択する

チャンネルを選択する  
項目を選択、調整する  
周波数、曲を選択する

テレビの音声を切り替える  
項目を決定する  
ラジオの放送局を自動で探し、記憶させる

スペース  
SPACE  
\* 音場を設定する

ボリューム  
VOL ^ v  
音量を調整する

ミュート  
MUTE  
一時的に音を消す (消音)  
小~中音量時の中・低音を補う (ラウドネス)

## リモコン (DVDビデオ/ビデオCD/音楽CD/MP3再生時)

\* CA-TU9200D接続時

サブ タイトル  
SUB (SUB TITLE)  
DVD  
字幕言語を切り替える

アングル  
ANGLE  
DVD  
アングルを切り替える

オーディオ ステレオ モノラル  
AUDIO (ST/MONO)  
DVD  
音声言語を切り替える

VCD  
ステレオ/モノラル音声を切り替える

ストップ  
STOP  
DVD VCD  
再生を止める

ポーズ  
PAUSE  
DVD VCD  
静止する

プレイ  
PLAY  
DVD VCD  
再生する

戻す 送る  
DVD VCD CD MP3  
頭出しする

DVD VCD CD  
早戻し・早送りする

DVD VCD  
スロー再生する (▶▶Iのみ)

10キー  
DVD  
メニューから項目を選ぶ  
タイトルやチャプターを選ぶ

VCD  
メニューから項目を選ぶ  
トラックを選ぶ

メニュー  
DVD (DVD MENU)  
DVD  
DVDメニューを表示させる

タイトル チャプター  
TITLE (TITLE/CHAPTER)  
DVD  
タイトル/チャプターを選択する

MP3  
文字コードを切り替える(⇒71ページ)

リターン  
RET (RETURN)  
DVD VCD  
ひとつ前のメニューに戻す

エンター  
# " /%\$/ENTER (ジョイスティック)  
DVD VCD  
項目を選択、調整する

DVD VCD  
項目を決定する

MP3  
(押す) ダイレクトフォルダ選択を行う

CD MP3  
曲、ファイルを選択する

CD  
早戻し/早送りする

MP3  
フォルダを選択する

スクロール  
SCRL (SCROLL)  
CD MP3  
曲のタイトルをスクロールする

リピート  
REP (REPEAT)  
DVD VCD CD MP3  
繰り返し再生する

ダウンミックス プロロジック  
DRC (ダイナミックレンジコンプレッション)/DOWN MIX/PROLOGIC  
DVD  
ダイナミックレンジを圧縮する  
\* 5.1chなどの音声を、2chに変換する

DVD VCD CD MP3  
\* ドルビープロロジックON/OFFを切り替える



# 各部のなまえとはたらき

# 再生できるディスクについて

## カーナビゲーションシステムに付属のリモコン

別売のカーナビゲーションシステム (CN-DV2200Dなど) を組み合わせた場合は、カーナビゲーションに付属のリモコンで本機の基本的な操作ができます。イラストは、CN-DV2200Dの付属リモコンです。

CA-TU9200D/TU7200D接続時

ナビ/テレビ切り替えスイッチ  
リモコン操作をナビゲーション側、  
テレビ側に切り替える

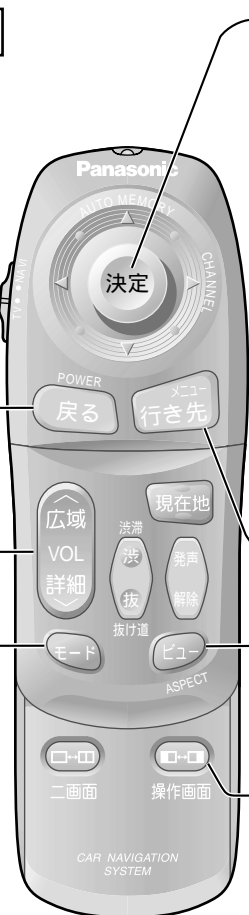
ナビ側 テレビ側

本機を操作するときは  
「TV側」に切り替えてください。

POWER  
モニターの  
電源をON/OFFする

VOL  $\wedge \vee$   
音量を調整する

モード  
映像や音声を切り替える



ジョイスティック/決定  
テレビの放送局を自動で探し、  
記憶させる  
項目を選択、調整する  
フォルダを選択する  
バンド、ディスクを選択する

チャンネル、曲、ファイルを選択する  
早送り/早戻し/スロー再生する  
項目を選択、調整する  
周波数を選択する

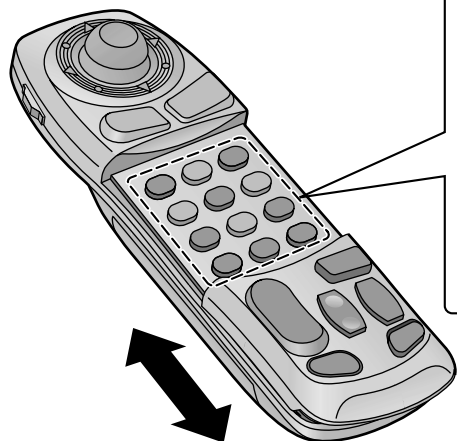
テレビの音声を切り替える  
項目を決定する  
ラジオの放送局を自動で探し、  
記憶させる

メニュー  
メニュー画面の表示

ASPECT  
映像の横縦比 (アスペクト)  
を切り替える

操作画面  
本機モニター側とリアモニター側を  
切り替える

スライドカバーを開けると



10キー (0~9)  
数字の入力でチャンネルを選ぶ  
ラジオの周波数を記憶させる/  
呼び出す 1~6  
グラフィックイコライザーの  
内容を記憶させる/呼び出す  
1~6  
チェンジャーを2台使う 1・2  
チェンジャーでランダム/スキャン/  
リピート再生をする 4・5・6

### お知らせ

電池の入れかたなどについては、ナビゲーションの取扱説明書をご覧ください。

ディスク	マーク (ロゴ)	ディスクの大きさ	映像方式	音声方式	リージョン番号
DVDビデオ		12 cm	NTSC	LPCM MPEG1/MPEG2 Dolby Digital	2 ALL
ビデオCD				LPCM (CD-DA) MPEG1	
CD、CD TEXT				LPCM (CD-DA) MP3	

### お願い

CD-R/RWについては、「CD-R/RWディスクのご使用について」をお読みください。(74ページ)  
MP3は、CDに書き込んだもののみ再生できます。「MP3ファイル作成時の留意点」をお読みください。(70ページ)  
DVDビデオ/ビデオCDは、ディスク側の制約により本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。ディスクのジャケットなどをお読みください。

### 再生できないディスク

リージョン番号が「2」「ALL」以外のDVDビデオ 8 cmディスク NTSC以外の方式 (PAL、SECAM方式など) で記録されたディスク  
DVDオーディオ DVD-ROM DVD-RAM DVD-R DVD-RW DVD+RW  
CD-ROM (MP3を除く) CD-RW (MP3、CD-DAを除く) CD-R (MP3、CD-DAを除く) CD-G VSD CVD CDV SVCD  
SACD フォトCD (再生すると、ディスクの内容が壊れる恐れがあります)  
Divx Videoディスク CD-EXTRAなど

### コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止を目的にコピーコントロールが施された音楽CDが発売されています。これは、現状CD規格に合致しないディスクであり、本機での再生は保証致しかねます。通常のCDを用いた再生には支障がなく、コピーコントロールCDを用いた再生のみに支障がある場合は、コピーコントロールCDの発売元にお問い合わせください。

### お知らせ

dts CD/dts DVDを再生しても正常な音声を再生できません。(デジタル音声のみ出力されます。) DVDのカラオケ機能には対応しておりません。CD-DAデータとMP3ファイルが混在している場合は、CD-DAデータのみ再生されます。(MP3ファイルは無音で再生されます。)

### DVDに記載されているマークについて

リージョン番号



発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割りあてられた番号。ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。本機のリージョン番号は、「2」です。ディスクに「2」(2を含むもの)または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。

字幕言語数 音声言語数 アングル数



数字は、記録されている数を示します。

画面サイズ (横 : 縦の比)

4 : 3の標準サイズ レターボックス

16 : 9のワイドサイズ

モニターの画面サイズが標準(4 : 3)のときは、レターボックス(73ページ)で再生されます。

モニターの画面サイズが標準(4 : 3)のときは、パン&スキャン(73ページ)で再生されます。

モニターに映し出される映像のサイズは、本機の画面モード (アスペクト 30ページ) とディスク側の画面サイズによって異なります。